

くあぐい 実験室

笑い我慢拷問



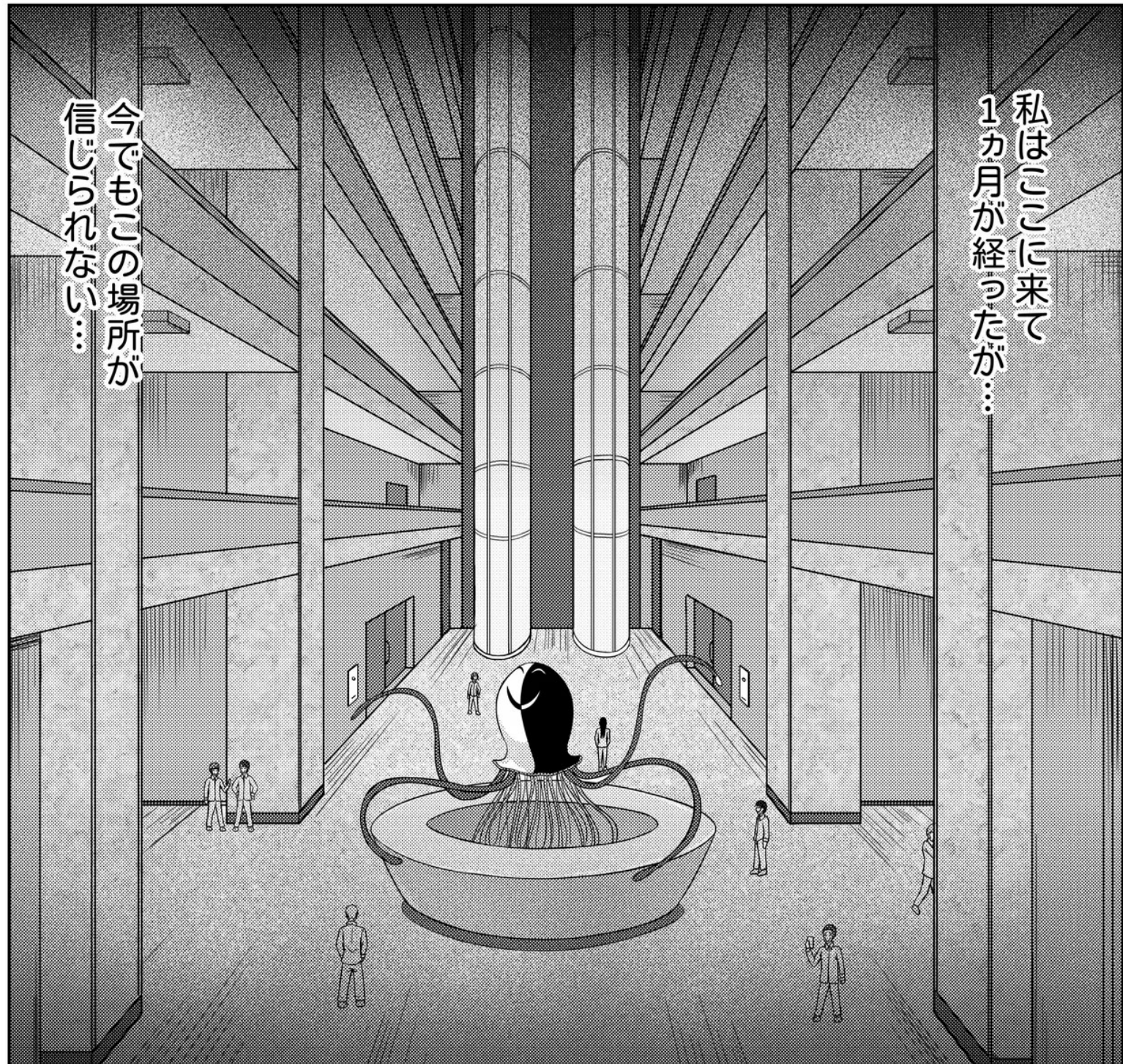
NISUSU

R-18



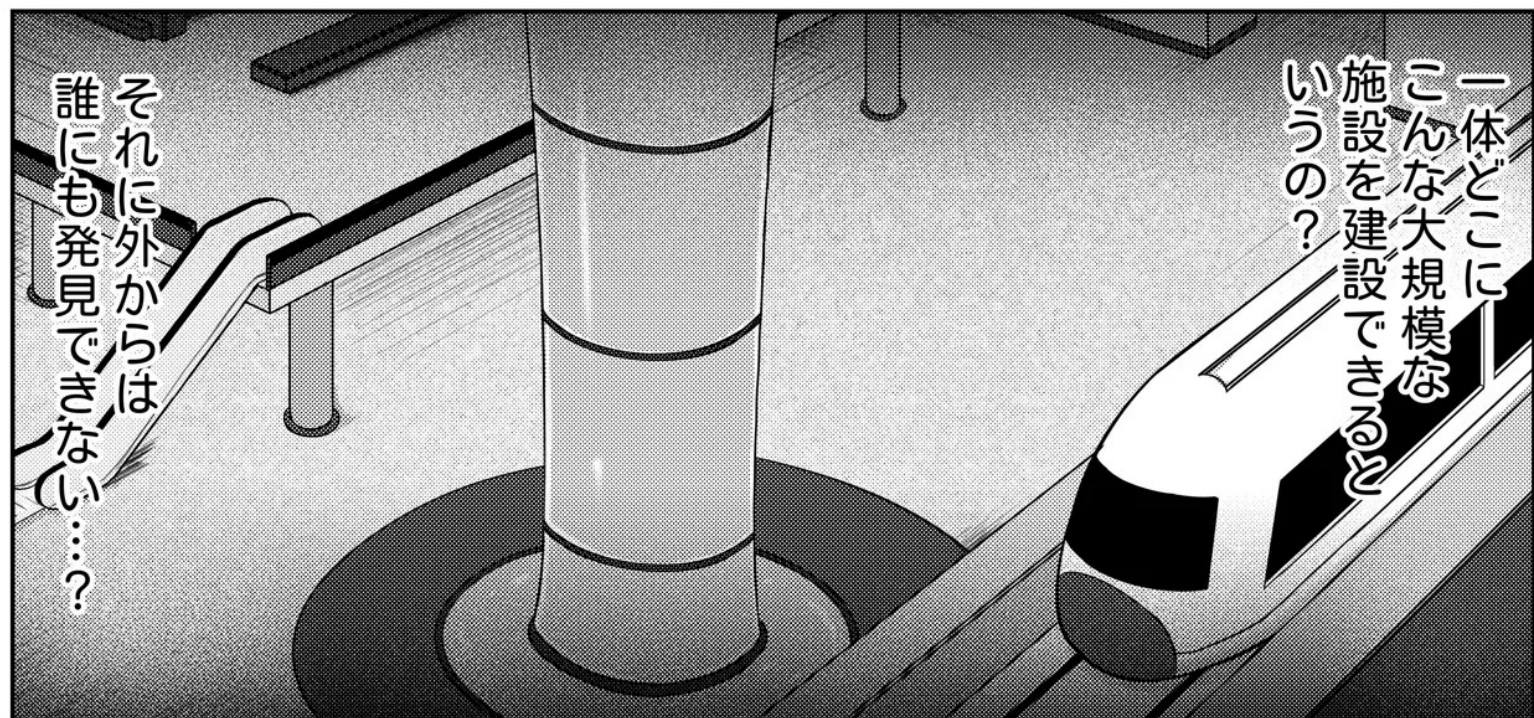
私はここに来て
1カ月が経ったが…

今でもこの場所が
信じられない…

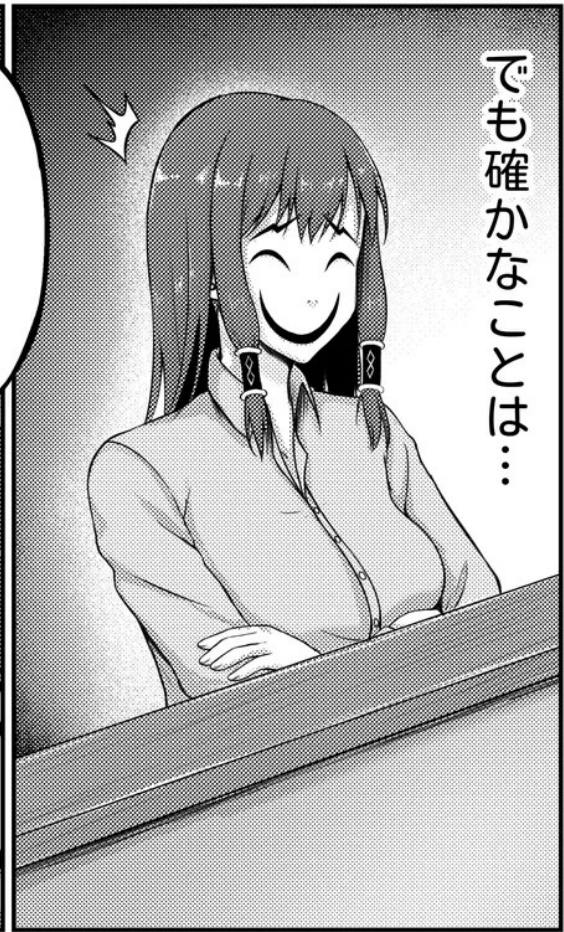


一体どこに
こんな大規模な
施設を建設できると
いうの？

それに外からは
誰にも発見できない…？



でも確かなことは…



おい！
手伝ってくれ！



まさにここが私たちが
探している場所だ。

1カ月前に調査していた場所…



ここはまさにくすぐり愛好家のために
作った楽園のようだ。

確かに行方不明者
リストに
載っている人だ。



そしていくつかの
実験対象は…



ここでの管理クラスは
非常に単純だ。

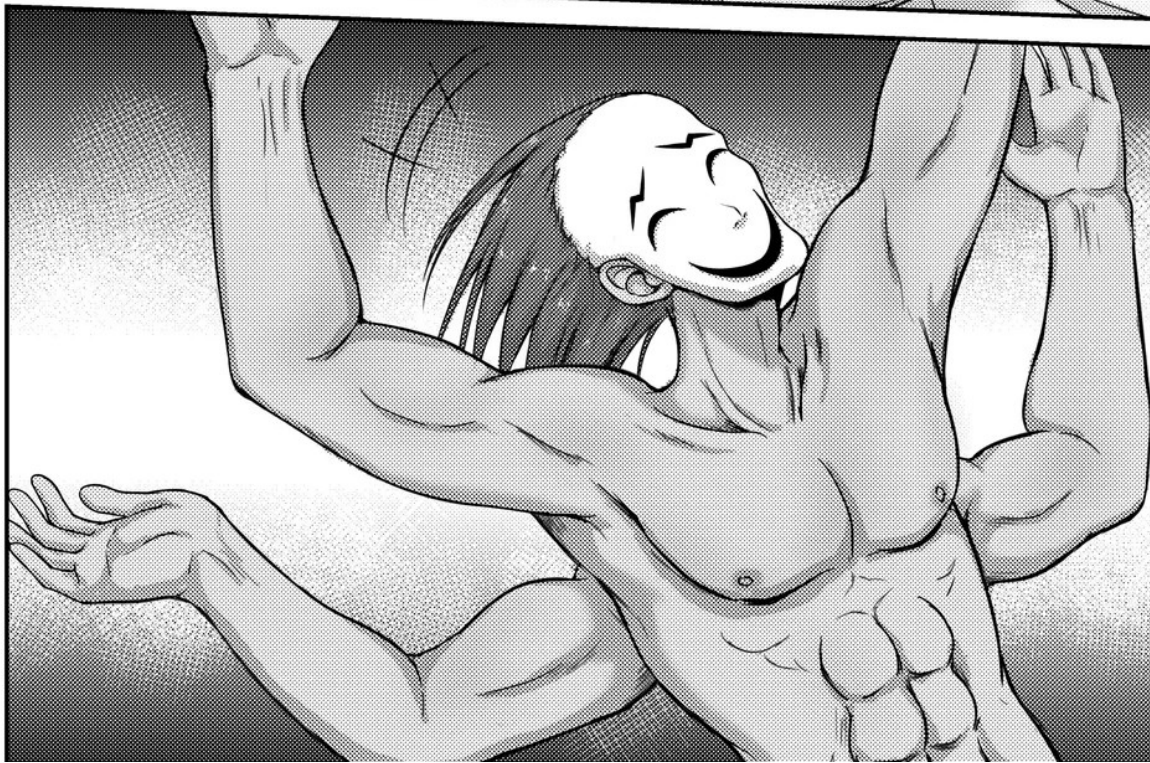
私のように
黄色いマスクを
している人は
一般会員だ。

この施設に滞在して
様々な実験をすることができ
るが
外出は許されていない。

白いマスクを
しているのは幹部だ。

施設に自由に
出入りすることが
できるだけでなく……

ある人達は……
特殊な能力を与えられた。



その上には
ビッグスリーと呼ばれる、
マスクは左右で白黒に分かれた
連中が居る：

ここれまで見たことあるのは
あの長身の男：

そして中庭に居る
あの奇妙なクラゲだけだ、

しかし
奴らが具体的に
どんな力を持っているのか
まだ調査できていない。

そして
このすべてを
創造したボス：

見たことはないけど
ヤバイ奴に
違いはない。

ここのテクノロジーは
現代科学より何世紀も
進んでいる。

でも変なものばかり
開発している…



実験と称しているが



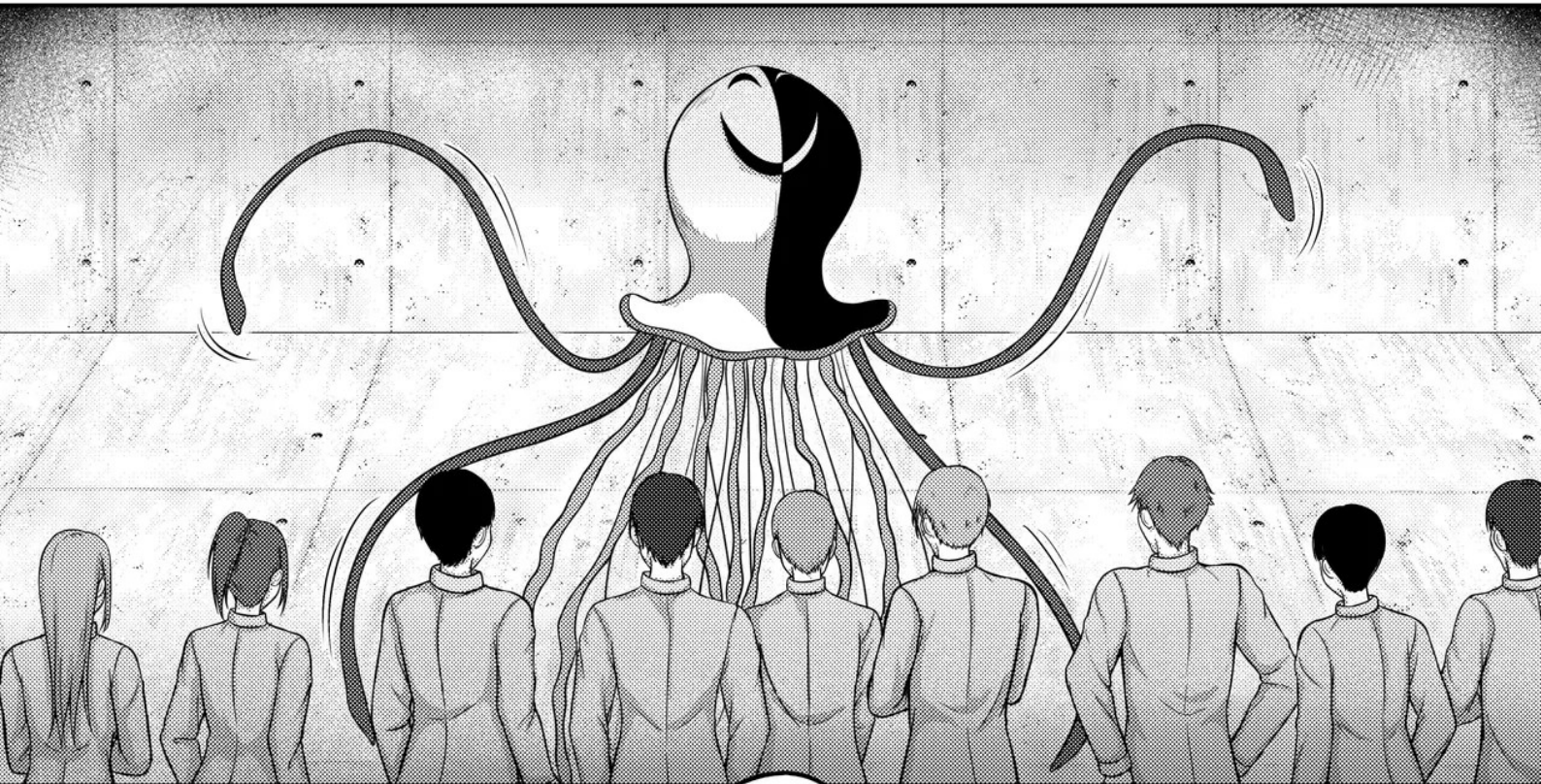
実際はくすぐりで
人を虐めているだけだ。



中央放送！
全職員に告ぐ！

先月から入会した
メンバーは
10分後に広場に
集合せよ。





え!?

君達の中に…
虫がある。



単刀直入に
言うよ…



まさか…

バレちゃった?

自首する
時間を与える…

今自首すれば
理由は聞かぬ
ただ出て行って
もらうだけだ。

しまった…
まだ有益な情報は
ほとんど得られていない…

頑張って得たのは
わずかな
手がかりだけ…

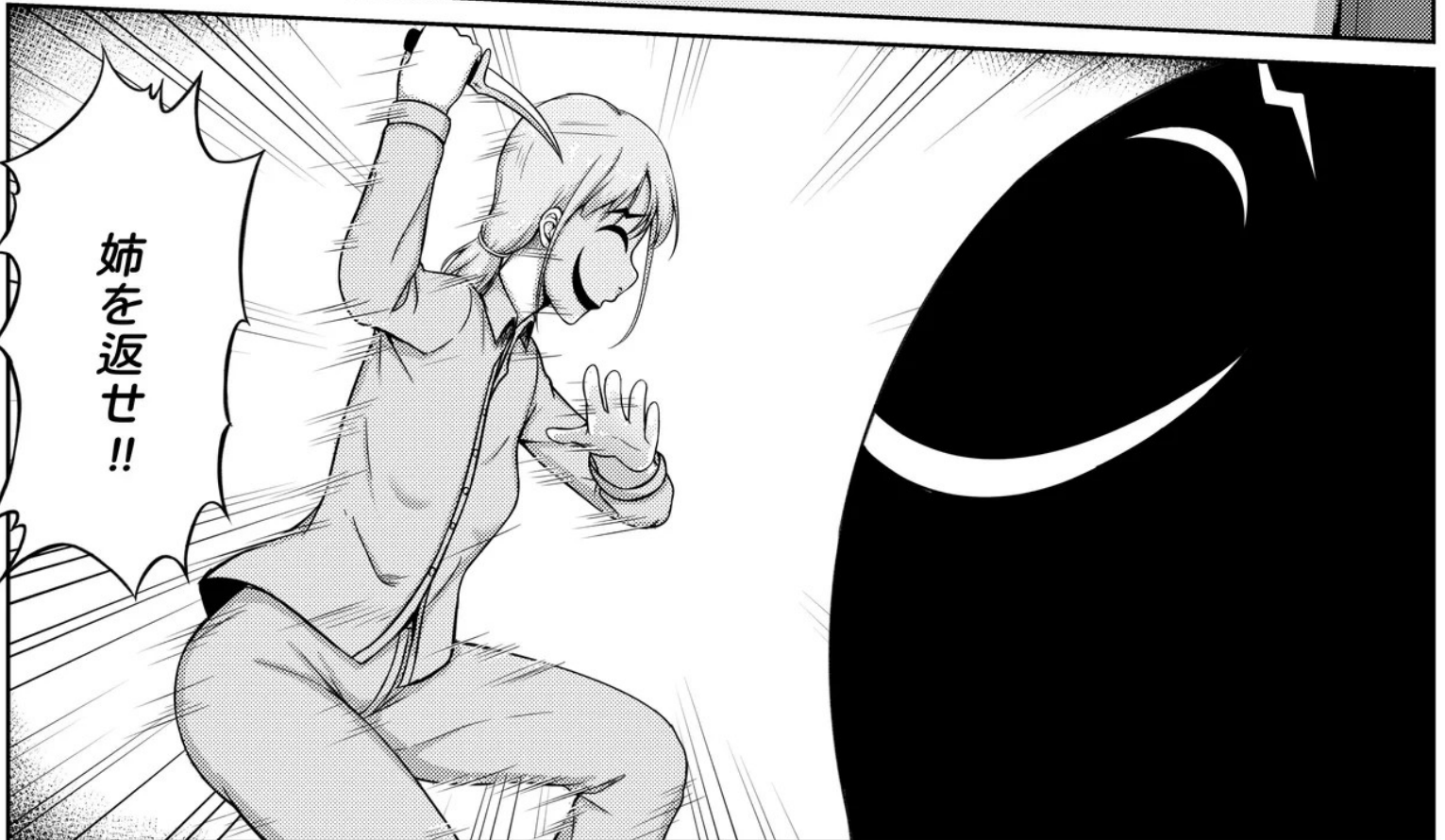
3

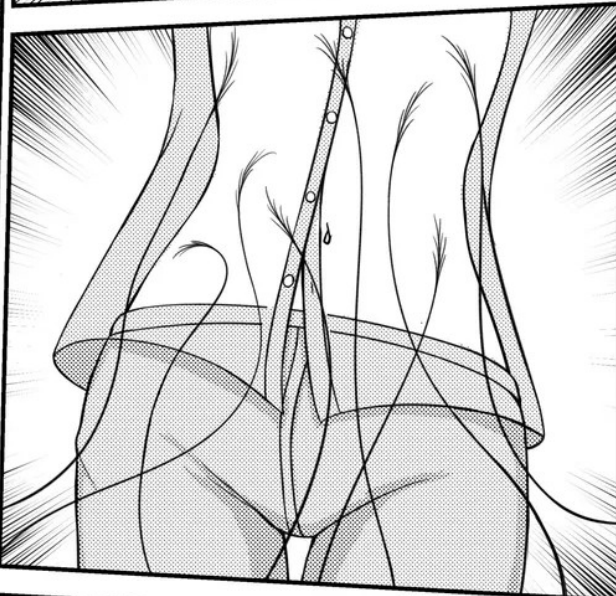
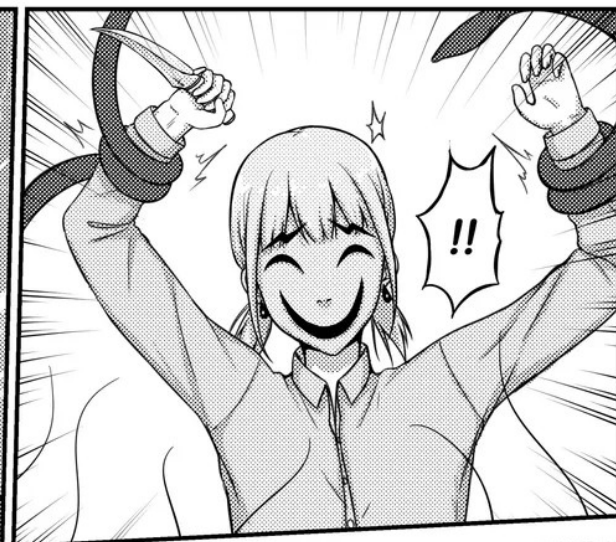
2

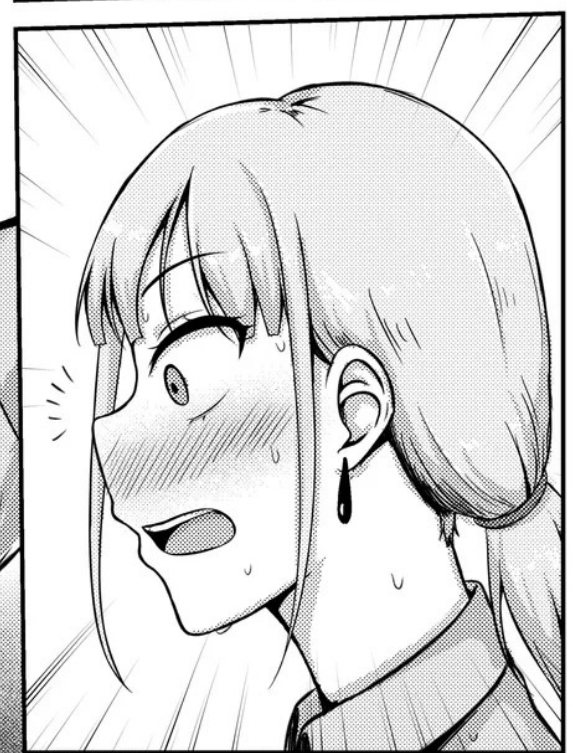
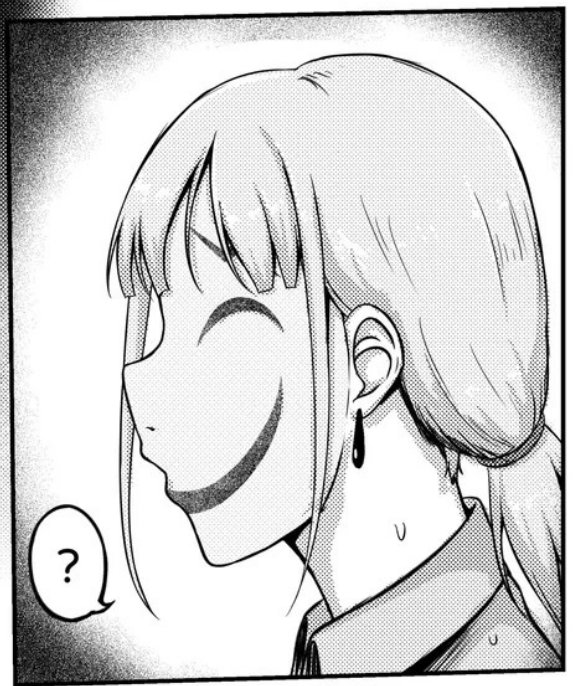
ここまでか…？

ちくしょおお…

1











あれは
ジエイド兄弟
じゃないか？

お任せ
いただけますか？

彼らはもうすぐ
幹部に昇進すると
聞いている。

ほう…
ジエイド
兄弟か？



じゃこいつは
任せるよ。

放せよ!!

あ！
そうだ！



アカネ?

姉ちゃん!?

遊び方をよく考えて使え。
俺はここで見ていよう。

もう一つ
私からプレゼントだ。



あれは...!?



ふふふ...

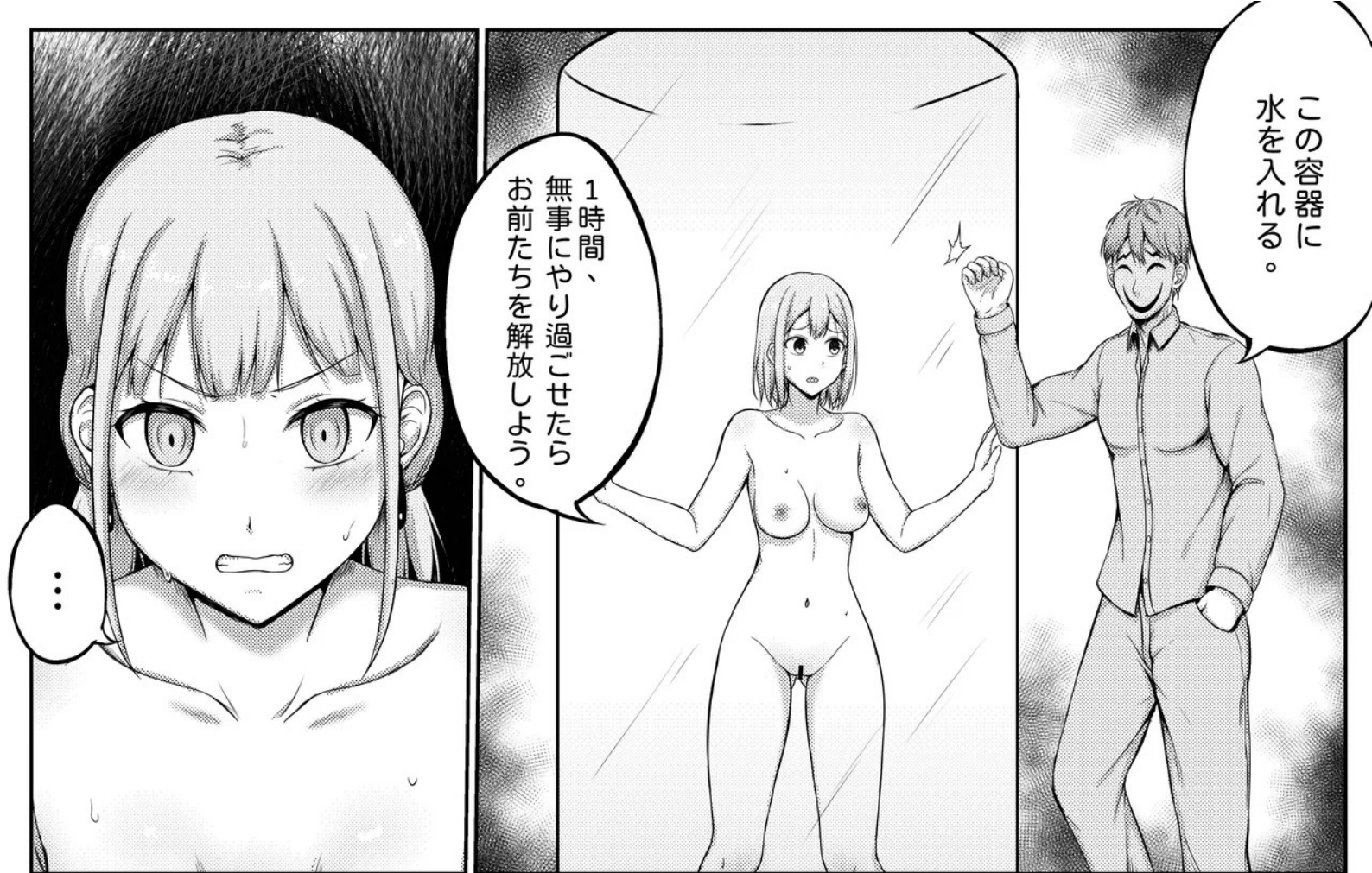
彼女を
助けるべき...!?

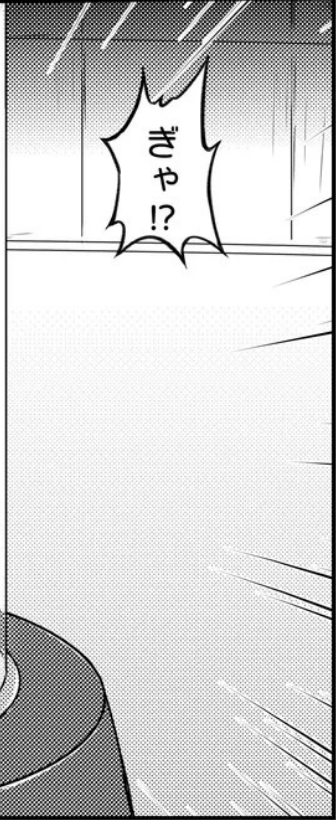
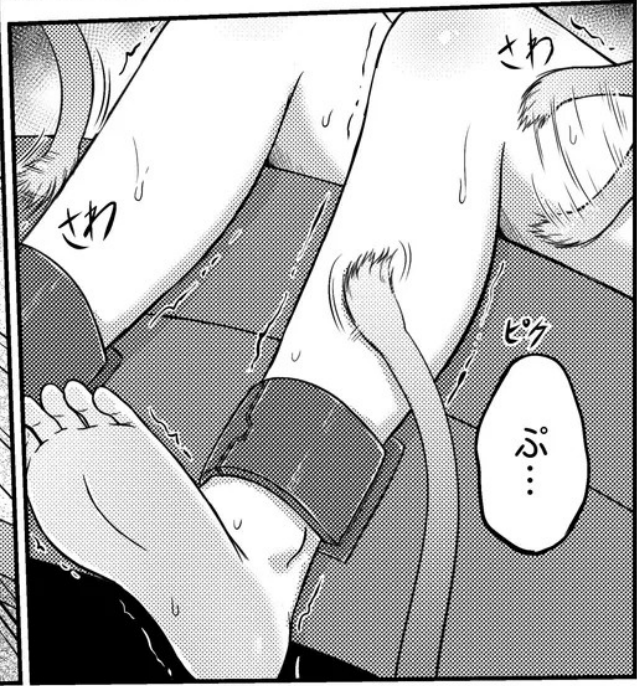


妹を救いに
来たようだな。

感動するね...
ますます
興奮してきた













無防備な
脇の下が最高だ〜

ふわはははははは!!
脇はだめへへへへ!!

はあ...

なに!?

ギャー
ハハハ
ハハハ

ハイ
ハハハ
ハハハ

兄さんは脇が
本当に好きだね!

おかげで俺はこの
甘くて美味しい足を
独り占めできる。



じゃ俺も
この腋を
味わってやる！

ほくら
たくさん
汗が出てきた♡

美味い
美味い。

くすぐり
ながら…

舐めるよ

助けて!!

そのように
舐めるな!!

あはははははは
ははははは!!

足が
びくびくしてる

興奮する
よね



ぷは！

そろそろ水が
容器を満たして
しまうよ

うっかり
笑いすぎて…



アカネ
止めて！！



酷いなあw

お姉ちゃんはお前のせいで
溺れかけてるのに
お前は全く我慢しない。

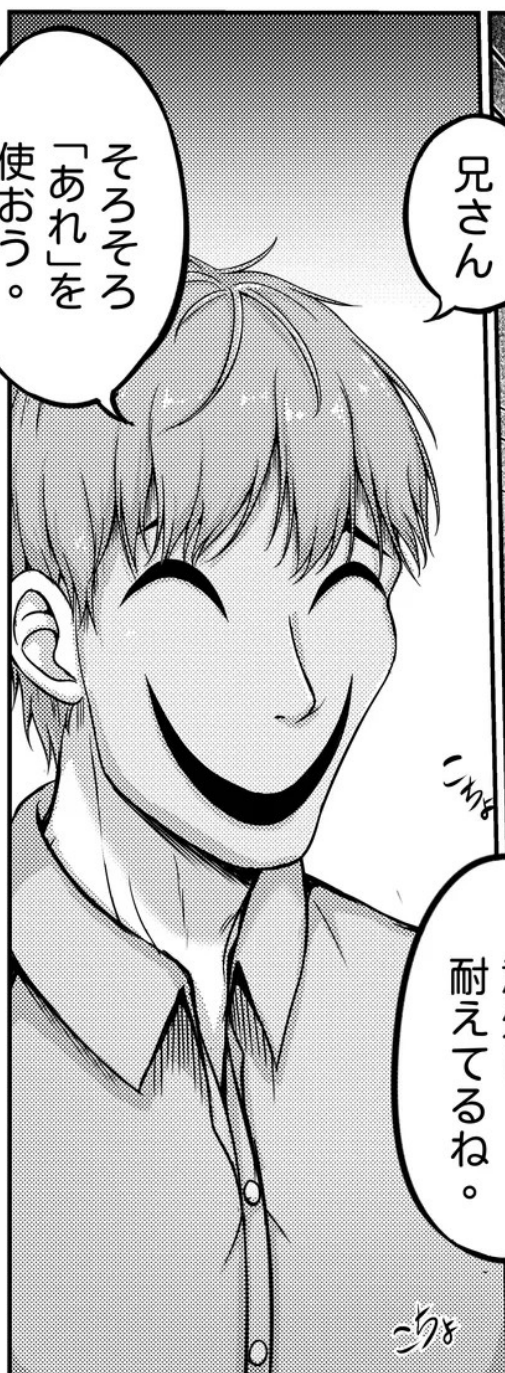
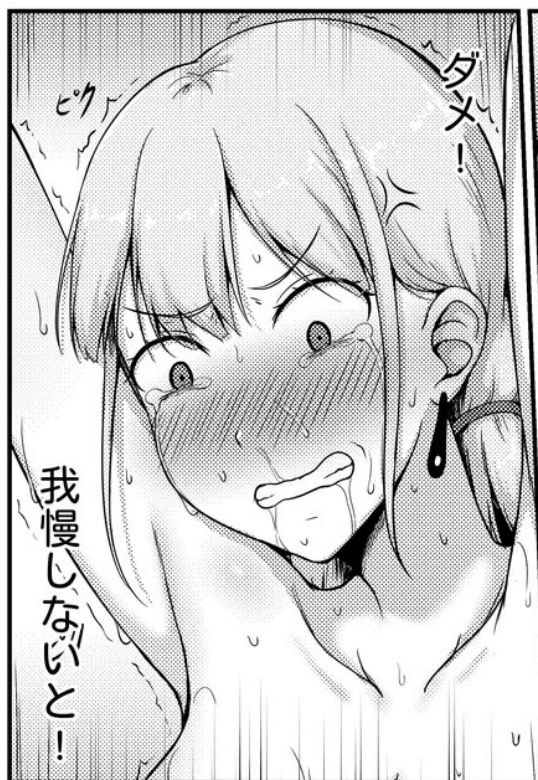
おねがい
やめて



姉ちゃん…

ごめんなさい
私はくすぐりに
弱すぎる…

もう何も
考えられない…





お前もしばらくここにいたね…

それは!?
ダメだ…

はあ…

耐えられる人間を見たことがないだろ?



でも俺たちもそんなに意地悪ではない…

これからはお前が音を立てない限り、水位を下げてやる。

つまり笑い出しても大丈夫。
数秒間我慢できれば…

姉ちゃんが呼吸する時間を稼ぐことができるよ。



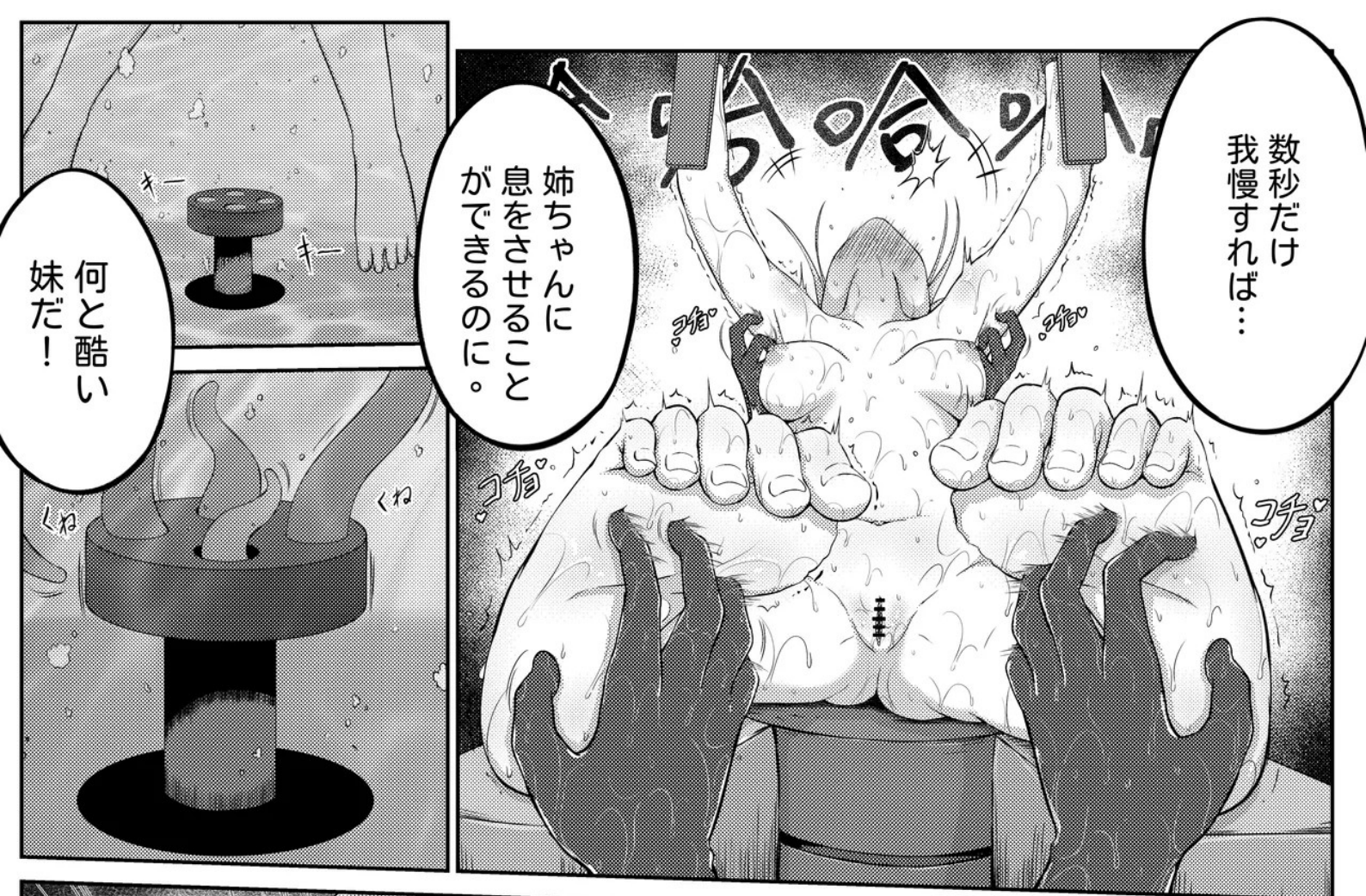
全てはお前次第だ

待って…!!

これ…

くすぐりたい…





笑い
すぎて…

罰メカニズムが
発動しちゃった。

お前のような
家族を大切に
しない奴…

このジェイド兄弟は
一番嫌いだ。

この
特殊な櫛で
お仕置きだ。

毎本はさまざまな
周波数で振動する。

ブラッシング
しながら…

振動する。
こんな不規則な振動が
特にくすぐったい
でしょう？

ウオオオオオ
オホホホホホ
ウアアアア!!

待ってアハハハ
アハとめてハハハ!!

くね

ヴィ...

くね

くすぐったすぎ
アアハハハ!!

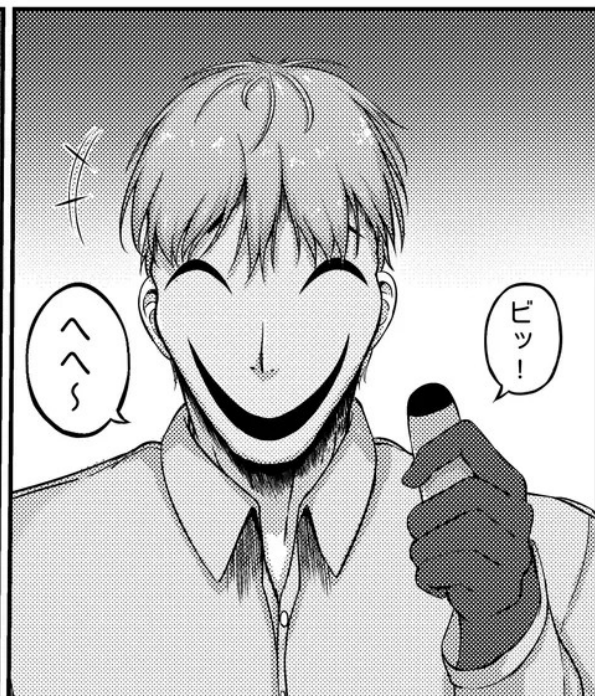
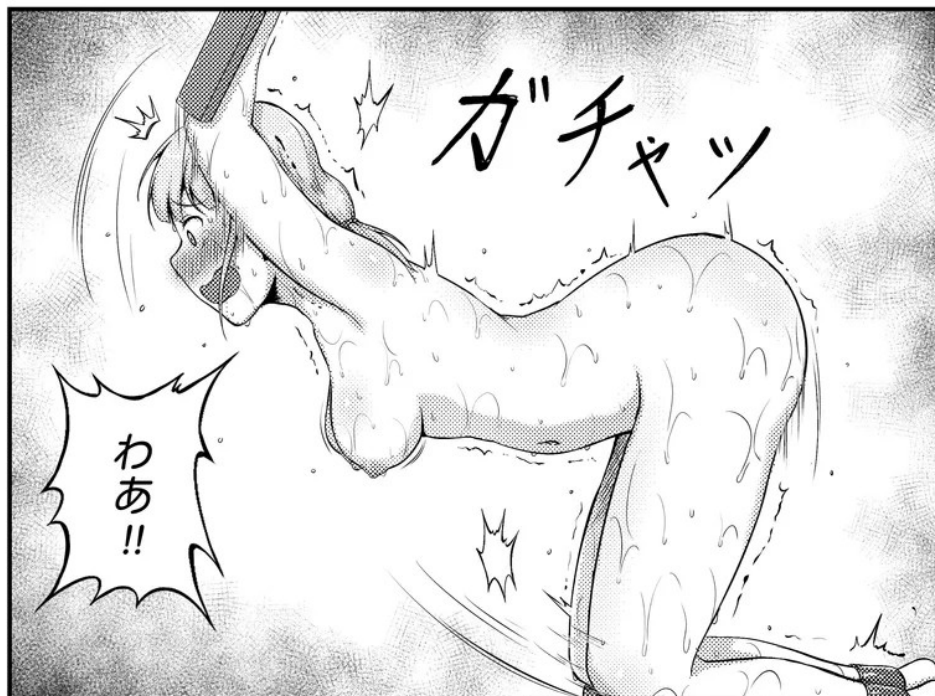
腋の下は...

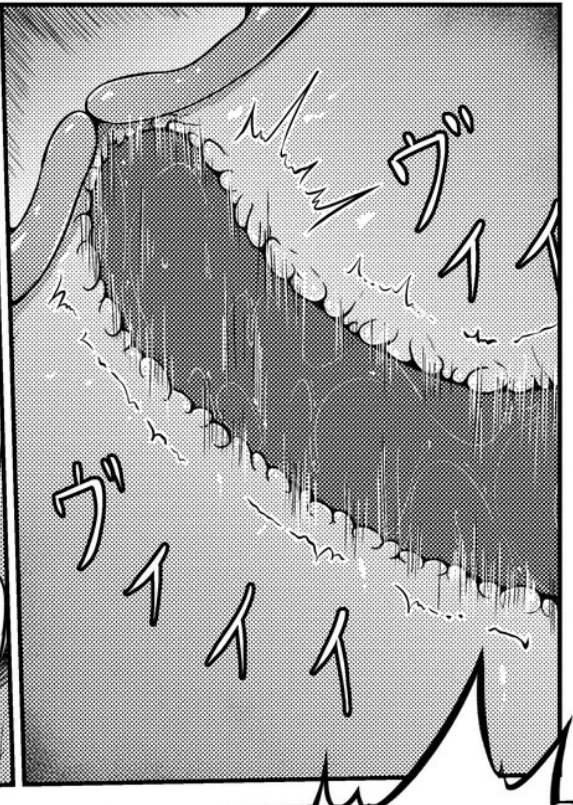
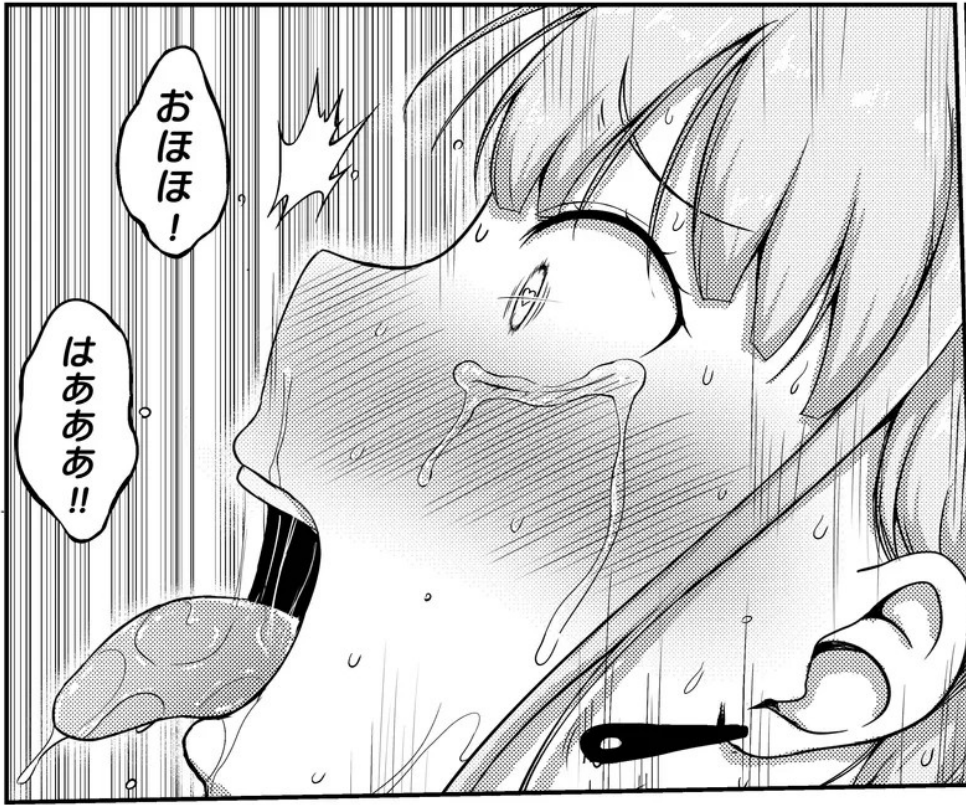
このように
長押しする
だけでいい。

ウオオオ
アアア!!

アハハハハハハ!!

グイグイ!!







気絶
しちゃった…

可哀想に。

まず彼女の姉
を救急に送って

実験体が無駄にする
わけにはいかない。

彼女が目を
覚ましたら
何も言わないで

悔恨を抱えたまま
私たちの奴隷として
居続けさせようw

素晴らしい
確かに人間に
やらせた方が
面白かった♪

お前たち二人を
幹部考査に
参加させてやろう！

情報を持ち出さ
ないといけない…

必ず君たちを
救う…

絶対！

今からボスに
会いに連れて
行く。